

「お薬手帳」とは

天塩町民の皆様、町立病院の薬剤師、寺門です。今回は皆様に馴染み深い「お薬手帳」についてお話しさせていただきます。



■お薬手帳の利点

- ① お薬手帳を提示して頂くことで、薬の重複服用や飲み合わせによる副作用を未然に防止できます。入院時、医療機関を受診する時、薬局で薬を購入する時などに必ずご提示ください。
- ② 災害時は、お薬手帳があれば、処方箋がなくてもお薬をもらえる場合があります。(災害時の特例)
- ③ スマートフォンなどを利用される方は、お薬手帳のアプリもあります。活用次第では、服薬の管理などもやりやすくなってきますので、興味のある方は、是非ご活用

用ください。

④ お薬をもらうときに、調剤薬局にお薬手帳を待っていくと、料金が少しお安くなる事がありますので、必ず持参するようにいたしましょう。(詳細は薬局、病院へお問い合わせください)

■お薬手帳は一冊にまとめましょう

患者様の中にお薬手帳を病院、診療所、歯科医院、薬局ごとに分けてご使用しておられる方がいらつしやいます。しかし、医療機関ごとに分けてしまうと必要なチェックができません。どのような薬をどのくらいの期間服用しているか、いつ頃服用していたか、お薬の重複はないか、また飲み合わせの悪い薬はないか、などを医師、歯科医師や薬剤師が確認するためには、服用中の全ての薬が一冊の手帳に記載されていることが重要です。

■更に活用してみよう

今後は、ご自分でお薬手帳に体調に関する事項を記入しておく事

も大切になってきます。是非、書き込んで頂きたい項目は、「現在の病気や以前にかかった病気の事」「薬剤アレルギーの有無」「食物アレルギーの有無」「薬を服用した時の体調変化の有無」「愛用している一般用医薬品(市販薬)や健康食品」などです。



■災害時はカルテの役割も...

今年、コロナウイルスが猛威を振っている中、皆さん大変な思いをされていると思います。さらに追い打ちをかけるように、日本各地で、豪雨による洪水や、地震による被害など様々な災害が起こっております。このような災害時、お薬手帳の役割はもっと広がってくるはずですよ。今後のお薬

手帳は、患者様と医療従事者が作る簡易的な診療録(カルテ)のような位置づけになってくると私は思っております。ご自分の体調について書き込み、お薬の事も記載することで万が一の災害にも対応できるお薬手帳を作ってみてください。

町立病院からのお願い

現在、国内でコロナウイルス感染症が発生している関係で、発熱等の風邪症状のある患者様は、事前にご連絡を頂いてからの診察を実施しております。何卒、ご協力の程よろしくお願いたします。

